

雲北陵月報

No. 406

令和元年6月28日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

男子バスケットボール部

2年連続6度目の栄冠！

時 5月31日・6月1日
於 カミアリーナ

2回戦	本校	92-35	出雲
準々決勝	本校	93-60	松江北
準決勝	本校	88-84	松江西
決勝	本校	66-64	松江東

優勝(2年連続6回目)

○大会総評

決勝は昨年と同じく松江東高校との試合になったが、チーム一丸となった戦いを見せ、2年連続のインターハイ出場を決めた。

今年のチームは12月に全国大会に出場したため、例年よりチームの完成度が低く、新人戦や中国大会予選では思うような結果を残せずにいたが、接戦となった準決勝、決勝では昨年の経験を生かして僅かの差で勝利し、7回目となるインターハイ出場を決めた。昨年は全国の舞台で勝つことができなかったが、この夏はまず初戦を突破、さらに目標のベスト8を目指し、これからの練習に精進したい。最後になりましたが、理事長先生や校



全国大会出場を決めた男子バスケットボール部

長先生をはじめ、保護者の皆様、OBや女子バスケットボール部、その他たくさんの方々から多くの声援をいただき誠に有難うございました。

(顧問 手島幹人)

卓球部

男子団体 10年連続13回目の優勝！
個人戦シングルスダブルスを共に制す！

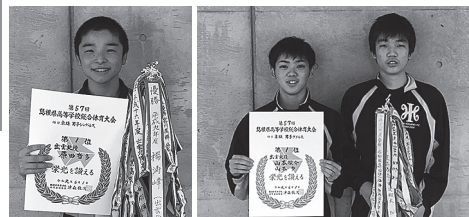
時 5月30日・6月1日
於 松江市総合体育館

〈男子団体〉優勝
〈男子シングルス〉

優勝	原田哲多(14)	北陵
2位	井上友希(33)	北陵
3位	山本駿介(32)	北陵
	山本歩(22)	北陵



団体戦優勝メンバー



シングルス優勝の原田哲多 ダブルス優勝の山本駿介(左)・山本歩組

〈男子ダブルス〉
優勝 山本駿介・山本歩組
2位 井上友希・武凱(32電州)組
3位 三村悠斗(24北陵)・原田哲多組
○大会総評
昨年に続き、団体・シングルス・ダブルスの3種目完全制覇を果たすことができた。

大会期間中、すべての試合がプレッシャーのかかる試合であったが、主将の山本駿介を中心としたチームワークで難局を乗り越えることができた。また出場した選手だけでなく、ベンチから声を囁らして叱咤激励し続けた仲間の力、遠路会場まで応援に駆けつけていただいた保護者の方々の声援も選手にとって非常に心強いものであった。温かいご声援有難うございました。

(顧問 古瀬泰之)

ソフトテニス部

時 5月30日・6月1日
於 浜山公園テニスコート

団体準優勝10年連続中国大会への出場権獲得

メンバー(今岡、日野坪、福島、矢田、安田、白築、吉岡、杉本)

2回戦	③-①	出雲工業
準々決勝	②-①	情報科学
準決勝	②-①	江津工業
決勝	①-②	松江工業

個人 2ペアがインターハイ、5ペアが中国大会へ出場

3位 福島悠馬(32東)・矢田和真(34河南)
今岡純也(34河南)・日野坪雄大(33出)
インターハイ出場
ベスト8 安田 稜(25大社)・白築 椋真(25河南)
中国大会出場

ベスト16 吉岡大瑠(34出)・杉本啓佑(25磯)
中国大会出場
ベスト24 奥井寛太(25出)・落合宵汰(33杜)
中国大会出場

○大会総評

団体戦では順当に勝ち上がり、決勝まで駒を進めた。決勝戦では松江工業に対し優勢にゲームを進め、大将戦をものにしました。並行して行われた試合でもリードする場面も多くあったが、最後は相手に攻めきられ惜敗となった。1、2年生はこの悔しさを忘れず今後に生かして欲しい。個人戦では福島、矢田ペア、今岡、日野坪ペアの3年生2ペアがインターハイへの切符を手にした。上位進出を目指し、しっかりと準備していきたい。3日間たくさんの方に会場まで応援に来ていただき、有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)

女子バスケットボール部

時 5月31日・6月1日
於 カミアリーナ

2回戦	本校	78-48	出雲
準々決勝	本校	79-50	出雲商業
決勝	本校	58-57	明誠
決勝	本校	57-73	松江商業

大会総評

決勝の松江商業戦では序盤から相手チームのシュートが良く決まり、思うような試合展開に持ち込むことができず、16点差で前半を折り返した。後半、徐々に本校の持ち味も出たが前半の得点差を縮めることはできなかった。

悔しい敗戦となったが、3年生を中心に最後まで本心に良く頑張ったと思う。当日は保護者の皆様やOBの方々からご声援いただき、誠に有難うございました。

(顧問 篠原勝利)

テニス部

時 5月30・31日
於 松江総合運動公園

《男子団体》		
2回戦	本校	③-0
3回戦	本校	0-2
《男子シングルス》		
ベスト16	吉岡七生	(25北陵)

ベスト8	岡 航輔 (35歳北陵)	・吉岡七生
〈女子団体〉		
1回戦 本校 0-3	③ 安 来	
〈女子シングルス〉		
2回戦敗退		
〈女子ダブルス〉		
2回戦敗退		
○大会総評		

大会総評

男子は、目標である中国大会出場は逃したが、団体戦や個人戦で、選手、応援、保護者一体となって闘うことができた。また、北村・藤原組は2-1の劣勢から、逆転勝ちし、周りに元気と感動を与える見事な試合であった。女子は、残念ながら完敗した。下級生にはこの悔しさを忘れずにリベンジして欲しい。

(顧問 石川剛亘)

サッカー部

時 5月25日
於 松江商業高校

本校	0-0	4	出雲高校
----	-----	---	------

大会総評

出雲高校を相手に気負うことなく、3年生を中心に粘り強く守り続け、前半を無失点で折り返した。しかし、後半立ち上がりから失点してしまい、集中力が途切れ、その後、連続失点を許してしまった。この悔しさを糧に選手権へ向け、チーム一丸となって頑張りたい。

保護者の皆様をはじめ、応援していただいた皆様有難うございました。

(顧問 鈴木雄介)

なぎなた部

時 6月1日
於 本校黎明館

〈演技競技の部〉		
優勝	日野愛理 (32歳)	森本あか音 (25歳)
2位	玉木羅夢 (23歳)	杉山華織 (15歳)
〈個人試合の部〉		
優勝	森本あか音	2位 玉木羅夢
3位	日野愛理	

国体県予選兼県選手権兼県民大会

時 6月2日
於 本校黎明館

〔演技競技の部〕

中学生（県選手権兼県民大会）

2位 川上友風^{中3類}・豊田詩月^{中3姉}

3位 廣瀬米香^{中2姉}・衣笠ことね^{中3妹}

高校生（国体県予選）

優勝 日野愛理・森本あか音

2位 玉木羅夢・杉山華織

〈個人試合の部〉

中学生 2位 川上友風

高校生

優勝 森本あか音 2位 玉木羅夢

3位 日野愛理

※高校生上位3名は7月21日に島根県で行われる国体中国ブロック予選に出場

※高校生上位3名は7月21日に鳥根県で行われる国体中国ブロック予選に出場

第25回中国高等学校なぎなた選手権大会

時 6月15日
於 広島市南区スポーツセンター

〈個人の部〉	
3位	森本あか音
〈団体の部〉	
3位決定戦	本校 3-1 鳥取西

大会総評

今大会では個人で森本が3位に入賞。団体は1名不足の状態でも挑んだが、3位入賞と健闘してくれた。今後は中高生ともに全国大会へ向け稽古に励みたいと思う。応援有難うございました。(顧問 井上美代)

陸上競技部

時 5月24日・5月26日
於 鳥根県立浜山公園陸上競技場

福田愛由香 (34歳)	走幅跳	6位
布野隆省 (31歳)	三段跳	7位
石崎李菜 (24歳)	円盤投	8位

第72回中国高校陸上競技大会

時 6月13日・16日
於 布勢陸上競技場(鳥取)

福田愛由香 走幅跳 出場
○大会総評
昨年途切れた中国大会に出場することが決まった瞬間は本当に嬉しかった。今年は、県総体までにほとんどの選手が自己記録を更新し、自信をもって臨むことができた。福田は、高い集中力で初めて5mを超えるジャンプをし、中国大会に進むことになった。非常に惜しいところで、7位、8位になった布野、石崎には今後の頑張りを期待したい。
中国大会に出場した福田は、自己ベスト更新はならなかったが、大会に参加してこの大会で学んだことを部員にしっかり伝えていくと思う。
保護者の皆さん、卒業生にたくさんのお応援をいただいた今大会、これを糧にまた一年頑張っていきたい。(顧問 別所美喜子)

野球部

時 5月24日・26日
於 平田愛宕山球場

1回戦	本校	0-11	出雲高校
-----	----	------	------

大会総評

今大会は本校が主当番校であり、前日の準備から大会運営等、出雲地区の高等学校の皆様の協力を得ながら無事役割を果たせたことに心から感謝している。
試合結果は、満足いくものではなかったが、新たな課題も見つかった。夏の大大会に向けてしっかりと精進したいと思う。ご声援有難うございました。

(顧問 陶山浩史)

写真部

写真甲子園中国大会優勝！

全国大会出場決定！

第26回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2019」中国ブロック審査会が6月9日に広島で行われ、本校が優勝を果たし、7月29日から北海道で行われる本戦大会への出場を決めた。本校からは福島悠太(31歳)、北脇武恭(31歳)、角田翔太(21歳)が出場する。応募校50校のうち「本戦」に出場できるのは18校のみという狭き門である。出場できることに感謝し、一つでも多くのことを吸収し、成長して欲しい。

春季写真コンクール特選11点・入選21点入賞！

時 6月7日
於 プラバホール

本校からは19人が95点出品し、11点が特選に入賞した。特選は以下の通り。	
「おっす」「ため息」	福島悠太 (31歳)
「神事」「友情」	北脇武恭 (31歳)
「退屈」	吾郷真菜 (32歳)
「置きざり」	原 英寿 (32歳)
「記憶の中」	山根七海 (21歳)
「心の中」	松井かへん (14歳)
「お先に失礼！」	荒木孝太 (13歳)
「テツと私」「食べる？」	大江日向人 (13歳)

(顧問 村上 学)

吹奏楽部

第54回出雲地区吹奏楽祭

時 6月8日
於 出雲市民会館大ホール

【演奏曲目】
・オズの魔法使い（エアレン）
・Perfect Human（Radio Eiga）
・じよいふるー（いきものがかり）

出雲地区の吹奏楽部が集う吹奏楽祭が開催された。いずれの学校も新メンバーとなり、コンクールへ向け熱演を披露した。

本校は、全出場団体で唯一となるステージドリルを披露した。短い練習期間ではあったが、部員達は観客の皆様に楽しんでいただけるよう工夫を凝らし、精一杯の演奏演技を行った。吹奏楽祭という名に相応しく、会場は大いに盛り上がり、演奏後には大きな拍手をいただいた。

いよいよコンクールシーズンに突入である。全国大会を目指し、部員一同日々精進していきたい。（顧問 竹内康貴）



合唱部

第58回島根県合唱祭

時 6月9日
於 大社文化プレイスうらら館

6月9日に行われた県内の小中高生及び一般の合唱団が参加する合唱祭に出演した。一曲目は今年度のNHK全国学校音楽コンクールの課題曲を披露した。緊張感のある中で歌うことで今後の課題を見つけることもできた。二曲目は「LOVEマシーン」を踊りな



がら歌い、会場の皆さんも一緒に手拍子で盛り上がった。趣の異なる二曲を同じステージで演奏することで表現力の向上につながった。また、他の団体の様々なジャンルの演奏を聴き、大いに刺激を受けることができた。今後もさらなる技術向上を目指し、次の演奏に向けて頑張りたいと思う。（顧問 太田裕子）

キャリア教育関西研修旅行

時 6月11日～13日

本校のキャリア教育の一環として、2年生は関西を中心とした上級学校・企業・文化施設等を訪問、見学する研修旅行を実施した。

初日は全員で人と防災未来センターを見学し、その後、活句大柁の鳥屋尾勇先生の講演を拝聴した。2日目以降はクラスごとに関西学院大学、大阪芸術大学等の上級学校や大阪市中央卸売市場、国立民俗学博物館等の施設見学をした。生徒達は真剣な表情で研修に取り組み、今後の進路を考える上で大いに参考となったと思う。



高校1・2年生 人権・同和教育HR実施

今年度1回目となる人権・同和教育HRが実施された。今回1年生は「誰もが充ために」を、2年生は「人権・同和教育の認識を深める」を学習した。生徒達は身近な具体例を用いて人権尊重への理解を深めることができた。



美術部

高文連出雲地区美術講習会・コンクール

時 5月30日～6月1日
於 サン・レイク周辺

本年度の高校美術講習会がサン・レイク周辺を会場に、出雲地区の9校から119名の参加を得て行われた。

1年生にとっては、油絵の大作制作は初めてだったが、部活動で学んだことを生かして熱心に制作に励み良作を完成できた。2年生も新緑や木漏れ日の美しさを十分に感じ、作品に生かすことができた3日間であった。



第66回全国高校フットボール競技大会島根県予選

時 6月7日
於 松江商業高校

情報技術部2年生部員4名に、3年生の2名を加え、計6名で競技大会に出場した。2年生部員にとっては一年間の成果を発揮する場となった。結果は満足できるものではなかったが、この経験を秋の大会に繋げていきたい。これからもしっかりと地道にレベルアップを図っていききたいと思う。



右から西航大(2-1)伊東仁(2-1)深田智広(2-1)吉川颯(2-1) 安立響(3-1) 福島悠太(3-1)

高校2・3年生 除草作業実施

5月17日の5・6限目に高校2年生、6月6日に高校3年生がそれぞれ学校敷地内や外周の除草作業を行った。両日ともよく晴れて、暑い中での作業となったが、生徒達は熱心に担当箇所の草取りや落ち葉掃きなどを行った。普段の掃除では行き届かない所もきれいになり、気持ちのよい環境になった。

トレーニングルーム 安全祈願祭実施

110周年記念事業として建設が始まりますトレーニングルームの安全祈願祭が執り行われました。完成は8月の末を予定しています。スポーツマンとして、筋力作りが必須の時代となっています。工事完了後、トレーニングマシンも9月中には設置が完了します。生徒の皆さんには、多いに活用し、体力作りに役立てていただきたいと思います。



(高校地区PTA日程)

月 日	曜	受付時間	開始時間	会 場	地 区
7月7日	日	9:00~9:30	9:30~	大社文化プレイスうらら館	大社・河南・浜山・出雲二・大田・多伎・湖陵
		13:00~13:30	13:30~	斐川文化会館	斐川・佐田・雲南・頓原・松江
7月8日	月	13:30~14:00	14:00~	平田文化館	平田・向陽
7月9日	火	13:30~14:00	14:00~	本校中高棟北陵ホール	出雲一・出雲南・北陵
7月10日	水	13:30~14:00	14:00~	本校中高棟北陵ホール	出雲三・県内その他・県外

◎高校PTA役員

5月28日、本校北陵ホールにてPTA総会が開かれ、新役員は次の方々に決まりました。

会長 小川 敬 様(31)
 副会長 福田 康伴 様(25)
 副会長 今岡 幹晴 様(11)
 監事 白根 知章 様(34)
 監事 飯塚 俊之 様(24)
 監事 伊藤 和之 様(11)

◎案内 参加者募集中!

令和元年度学校開放美術講座

絵画・デザインの2部門を開講
 日時 7月13日(土) 9:30~12:00
 受付 9:00
 内容 絵画 木炭デッサン
 デザイン CGイラスト
 会場 出雲北陵高等学校美術棟
 対象 中学1~3年生

第19回 いずもアートコンクール

中学校の美術・デザイン能力の研鑽の場、美術を愛好する心を育成することを目的としています。
 日時 8月20日(火) 11:10~15:40
 内容 人物を描く
 会場 出雲北陵高等学校美術棟
 賞 最優秀賞 1名
 優秀賞 若干名
 参加資格 県内の中学生 《参加費無料》

第24回教員演奏会

本校音楽コース講師の方々による演奏会を左記の通り開催します。皆様のご来場を関係者一同心よりお待ちしております。是非お越しください。
 日時 7月12日 18:00開場 18:30開演
 於 ビッグハート

出演者…

今岡美保(ピアノ)
 山本牧子&水師彩子(ピアノデュオ)
 稲田睦美(メゾ・ソプラノ)
 柳楽智史(フルート)
 太田裕子(オーボエ)
 酒見朗子(クラリネット)
 持田 崇(サクソフォン)

西牧 岳(ファゴット)
 榎野清治(ホルン)
 竹田智徳(ユーフォニアム)
 入場料:二般1,000円 学生500円

中学校

令和元年度出雲市 中学校総合体育大会結果

卓球部

時 6月4日・5日
 於 斐川第一体育館

〈男子団体〉
 優勝(8年連続10回目)
 〈男子シングルス〉
 優勝 杉浦大和(中3)
 2位 小野泰和(中1)
 3位 濱田都希(中2)
 5位 藤村隼翔(中3)
 田中悠斗(中1)

○大会総評
 この結果により、団体および推薦者を含むシングルス7名の選手が県総体への出場権を獲得した。市の代表として、堂々たるプレーを県総体で見せられるように今後の練習に精進していきたい。
 (顧問 相場翔太)

女子バスケットボール部

時 6月4日・5日
 於 本校体育館
 斐川西中学校体育館

〈予選リーグ〉
 本校 77-50 出雲二
 本校 94-32 斐川東
 〈決勝リーグ〉
 本校 67-49 出雲一
 本校 68-30 河南
 優勝(6年連続)



○大会総評
 予選リーグ、決勝リーグを通じ、全試合で本校の良さが出た大会であったように思う。しかし、まだまだディフェンス面が甘く、今後県大会に向けて練習に励みたいと思う。当日は保護者の皆様から多くのご声援をいただき、有難うございました。
 (顧問 篠原勝利)

野球部

島根県中学校優勝野球大会出雲市予選

時 6月4日・5日
 於 平田愛宕山球場

一回戦 本校 0-11 河南中
 ○大会総評
 初戦で今大会優勝した河南中に敗れてしまった。これまで3年生は、少ない人数の中でチームを引っ張り、この試合も最後まであきらめず戦った。たくさんの方の応援有難うございました。
 (顧問 手銭修司)

男子バスケットボール部

時 6月4日・5日
 於 斐川西中学校体育館
 本校体育館

〈予選リーグ〉
 本校 27-70 平田
 本校 36-54 出雲一
 0勝2敗
 ○大会総評
 悔しい結果になったが、人数が少ないながら一生懸命戦うことができた。ご声援有難うございました。
 (顧問 多々納厚比古)

中学1年 サン・レイク宿泊研修

時 5月21日・22日
於 サン・レイク

中学1年生が1泊2日のサン・レイク宿泊研修を実施した。初日は強風が吹き、急遽カッター訓練がオリエンテーリングに変更になったが、班のメンバーと協力し合う姿が見られ、良い研修になったと思う。

【生徒感想】

私は今回のサン・レイク宿泊研修を通して、協力の大切さを学び、みんなとの絆を深めることができました。

オリエンテーリングでは、班のみんなが役割を分担したり、地域の方と交流しながら楽しく問題を解いて地域のことを知ることができました。

パーベキューでは、1年生全員で準備をして、みんなで食べたので、色々な人と仲良くなれました。

部屋の掃除・片付けでは、部屋の人達で役割分担をしてすばやくきれいに掃除・片付けを進められました。

創作活動では、世界でたった一つのレザーストラップを作ることができて良かったです。しかし、頑張って創作したのですが、色塗りのインクの蓋がぐちゃぐちゃになっていたり、タンポンは1色に1本使うように言われたのに同じ色のタンポンが3本ほどあったりしたので、これからはもっと人の話を聞いたり、他の人にも注意したいと思います。

今回学んだことをこれからの生活に生かしてだけでなく、周りの人にも伝えていきたいです。

塩野莉菜(中1)

第2回校外講師特別講座(座禅と講話)

時 5月29日
於 一畑寺

今年度も歴史と由緒ある一畑寺を訪問

し、飯塚大幸管長様のお世話による座禅と講話の会を実施した。非現実の静寂に身を置き、警策の音が響く中、「今」を感じ、自己と向き合う貴重な時間を持つことができた。

【生徒感想】

座禅を行う前のお話が心に残りました。姿勢が人の第一印象を変えるという事です。もう一つは感情は物に現れるということ。靴を見たとときに揃っていないと気が持たないという話。私はこれから身の周りの物を整理整頓しようと思いました。座禅が始まって思ったことは難しいということ。呼吸を意識しようと思っても、違うことを考えてしまうからです。しかし、お坊さんに警策で打たれてから呼吸に集中できるようにになりました。6月4日にバスケットボールの市総体があります。座禅の経験を生かし、集中力が発揮できるようにしたいです。貴重な体験をさせていただき有難うございました。

藤井裕大(中1)

第1回合同礼法

時 6月17日
於 北陵ホール

礼法主任の井上美代教諭を講師に迎え、合同礼法を開催した。本校の礼法は、創立者水谷キヲ先生が重視して指導に当たられた歴史と伝統ある教科であることを生徒達は再確認することができた。また普段の生活に生かせるように、立った姿勢、腰掛けた姿勢、制服のたたみ方などの実習も行った。



キャリア教育(進路学習)

時 6月11日
於 北陵ホール

中学2年生

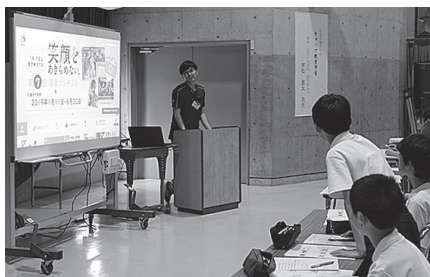
講師：出雲市民病院 理学療法士 常松恵太様

理学療法士

中学2年生21名を対象にパワーポイントを活用しながら、理学療法士の仕事のこと、資格を取得するために必要なこと、この仕事を選んだきっかけなど、常松様に生徒の興味関心を引くお話をいただいた。生徒の将来や職業に対する知見を広げる大変有意義な時間となった。

【生徒感想(一部抜粋)】

理学療法士の仕事は、けがをした人や体が不自由になってしまった人のサポートをする大切な仕事だということが今日の講話で分かった。そして、理学療法士だけでなく、他のほとんどの仕事は社会や地域でも必要とされる大切な仕事なんだなと思いました。私は将来なりたいものが決まっています。その仕事の何が大切なのかを改めて考えてみたいと思います。



松井美柑(中2)

中学3年生

島根大学医学部訪問

時 6月11日
於 島根大学医学部

島根大学医学部を訪問し、大学の概要説明、クリニカルスキルアップセンターでの実習、医学科学生との交流を行った。

【生徒感想】

今回の島根大学訪問では、お話を聞いたり、実際に体験をさせていただきました。始めに並河徹先生から、島根大学医学部についてのお話を聞きました。本をたくさん読むこと、英語で一冊本を読むこと、体を鍛えること、SNSやメールではなく直接会ってコミュニケーションをとることが大切だと教えていただきました。実習では「医療の手洗い」「聴診」「一次救命処置」を体験しました。特に「一次救命処置」では、小学校の頃に一度習っていたけれど覚えていなかったもので、これからは何かあったときにすぐに処置ができるようになったと思います。いつ・どこで・何が起これるか分からないので、もし今日体験したことが必要となるときはしっかりと実践していきたいです。医学科の学生の方との交流では、将来これからの自分につながる、とてもためになるお話を聞くことができて良かったです。今日の経験を今後の進路決定や、将来の目標に生かしていきたいです。



山本麻央(中3)

作品と研究

県総体を終えて

陸上競技部

布野 隆省(3・1 姓)

私達陸上競技部は、5月24日から26日まで浜山陸上競技場で行われた県総体に出場しました。結果は福田が女子幅跳びで6位入賞し中国大会出場権を得ました。その他の入賞者は、布野が男子800Mで7位入賞、石崎が女子円盤投げで8位入賞でした。昨年は中国大会に出場することができなくて悔しい思いをしましたが、その悔しさを忘れず練習したことで、目標を達成する部員が出たことは良かったと思います。

私は中学生で陸上を始めて以来、800Mを専門に走ってきました。800Mは陸上競技の中でも一、二を争う過酷な競技といわれ、練習も辛くて800Mを辞めようと思ったことは何度もありました。それでもキャプテンとして辞めずに努力を積み重ね、県総体で決勝まで進むことができました。惜しくも7位で中国大会には行けませんでした。心の中に後悔はなく、最後までやりきった強い達成感を味わうことができました。

この大会を節目に引退する3年生、これから新人戦に向けて頑張る1、2年生のみなさんには、頼りないキャプテンではありましたが、ついてきてくれて有難うと言いたいです。この部活動で学んだことは、今後の学校生活や進路先で生かしていきたいと思います。

最後に、引退するまで頑張ってくれたのは、指導してくださった先生方やコーチの方々、応援してくださった保護者の方々のお陰だと思っています。本当に有難うございました。

女子バスケットボール部

門脇 美羽(3・2 姓)

私達は、5月30日からカミアリーナで

行われた県総体に出場しました。準々決勝までは順調に勝ち進むことができました。準決勝で対戦した明誠高校は四月の中国大会予選決勝リーグで12点差をつけられて敗れていましたが、自分達のバスケットボールをすれば必ず勝てるという強い気持ちを持って臨みました。試合は前半から相手の高さに苦しみ、思うように点が取れない厳しい展開でしたが、最後まで諦めずに粘り抜き、1点差で勝つことができました。しかし、決勝では松江商業高校の当たりの強さや高いシュート率の前に16点差で敗れてしまいました。「インターハイ出場」というチームの目標にあと一步の第二位という悔しい結果となりました。3年生にとっては、集大成となる最後の大会でしたが、試合終了まで全員で戦い抜くことはできたと思います。1、2年生は、この悔しさを忘れずに練習すれば、来年は必ずインターハイに出場できると信じています。

女子バスケットボール部で過ごした約二年半はあつという間でした。個人的には大きな怪我もしましたが、その中で多くのことを学び、成長できたと思います。時には辛く苦しい練習もありましたが、励まし合って協力すれば大きな壁も乗り越えて、やり抜くことができることもわかりました。一緒に頑張れる仲間との出会いは、私にとって何よりも大切なものだと思っています。

熱心に指導してくださった先生、どんな時でも支えてくれた家族、いつも応援してくださったすべての方々の力があつて、私達は最後までやり抜くことができました。本当に有難うございました。

男子テニス部

岡 航輔(3・5 姓)

私達は5月30日から6月1日にかけて松江総合運動公園で行われた県総体に出場しました。

個人戦では、一人ひとりが「過去一の最高のプレー」を掲げ、上位入賞を目標にしていきましたが、ダブルスで一ペアがベスト8、シングルスでは二人がベスト

16という結果に終わりました。団体戦では、初戦隠岐水産高校と対戦しました。緊張していた部分もありましたが、練習を思い出して自分達の力を発揮し、勝つことができました。準々決勝では松江北高校との対戦になりました。序盤は強豪校相手にひるむことなく食らいつき競り合っていました。後半は相手の圧力に押されてしまいましたが、個人戦、団体戦を通して目標にあと一步及ばず悔しい結果となりましたが、仲間とチーム一丸で戦えたことは一緒に苦しい練習を乗り越えてきたからこそだと思います。特に団体戦での応援は、どの高校にも負けない強さがあったことには胸を張ろうと思っています。

私はこの約二年半、部活動を通して特別な時間を過ごすことができました。悔しいことは糧にしながら多くのことを学んで成長し、仲間との日々の練習を積み重ねて「テニスをすることの楽しさ」をあらためて知ることができました。この気持ちには、仲間と石川先生と外部コーチの乾さんのお陰で得ることができたと思っています。

最後になりましたが、私は、今まで指導してくださったみなさんと保護者の方々、そしてテニス部の仲間に出会えたことに感謝しています。本当に有難うございました。

サッカー部

榎野 大空(3・2 姓)

5月25日に松江商業高校で行われた県総体に出場させていただきました。一回戦、出雲高校と対戦しました。前半の始めには北陵ペースで試合が進み、どんどんゴールに迫り何度かチャンスがあったものの決めきることができませんでした。前半の半ばは一進一退の攻防となり、そのまま両チーム無得点で前半を終えました。そして後半に入り、「今度は絶対決めてやる！」という気持ちで挑んだ結果、前がかりになり守りが甘くなったところを相手チームのきれいなチームプレーで先制点を決められてしまいました。自分達

が先にゴールできると思っていたこともあり、ショックを隠せない状況になってしまいました。その後、気持ちの切り替えをするまでに時間がかかってしまい、次々と点を失ってしまいました。気づけば0対4で試合が終わり、初戦敗退というものすごく悔いの残る試合となってしまいました。私は試合が終わった後、悔しさを悲しよりもキャプテンとしてチームを勝利に導くことができなかったチームのみんなに對して本当に申し訳ないという気持ちでいっぱいになっていました。北陵サッカー部はたくさんの方々々に支えられてここまでやってこれたと思います。先生方はもちろんですが、いつも自分達の味方になってくれた保護者の皆さんには一番感謝しています。

私は、この県総体で引退しますがまだ選手権に向けて練習を続けている3年生もいるので、今後も応援をよろしく願います。10月にある選手権では、感謝を忘れず、一勝でも多く、北陵サッカー部らしい試合ができるよう、頑張ってください。



令和元年度春季写真コンクール 特選

今月の
1枚

「お先に失礼」

荒木 孝太(1・3 姓)